



# クルリンとほしぞらさんぽ

# 2月号

## 星空が美しい季節のどまんなか

2月は冬の星空まっさかり、見たり写真を撮ったりしたいですね。寒さに負けずにやってみましょう。

## 冬の星座がいま 見ごろ

冬の星空はほしぞらさんぽ向き、見上げるとたくさん星がとてもきれいに見えていますね。冬の星空はきれいだと言われますが、なぜでしょうか。理由は一つではないようです。

- (1) 冬は日没が午後4時台で、皆さんが生活している時間帯に星空が見えてきて、星を目にする機会が増えるということがあるでしょう。
- (2) 冬の空気は湿気が少なくなって、星がすっきりと見える夜が多いようです。
- (3) 冬の星座には明るい星がたくさんあります。

## 星図

星空を見上げたときにすばやく見つけて指さして「あれはシリウスだよ」なんて言えたらカッコいいね。おぼえるのには「星図」がないと…。パソコンやスマホで星図が見られますが、それでは頭に入りません。どうしても紙の星図。

市立図書館の児童書・自然科学のコーナーには、星座の本が何冊も並んでいます。本を借りて星図を書き写しましょう。写真やコピーでなくノートに手書きで書き写すと、皆さんの柔らかい頭なら1回で覚えてしまうと思います。

## 冬の星座をいくつ数えられますか

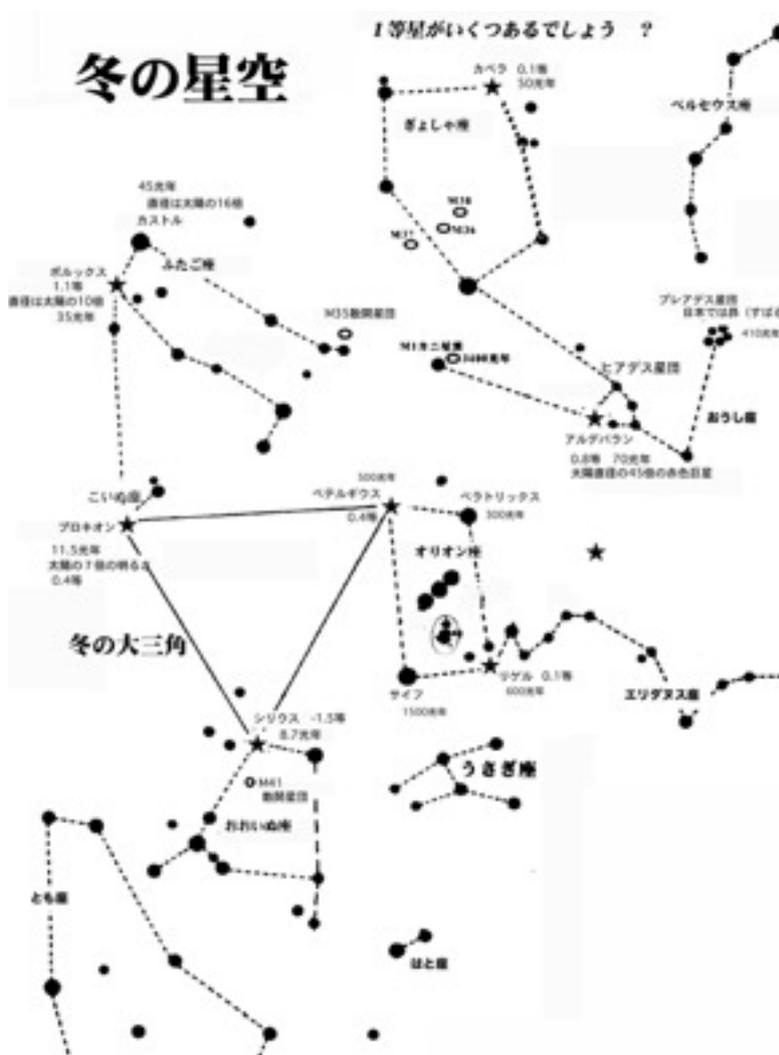
午後8時過ぎになると、空には冬の星座が並んでいます。にぎやかですね。星座を数えてみましょうか？ 星図を参照しながら星座早見盤を活用して探して、それぞれ指さし確認してみましょう。

## 冬を代表する星座を

いくつ言えますか。

オリオン座、おおいぬ座、おうし座、ふたご座、ぎょしゃ座、なんてありますね。ではおもな1等星の名前は言えますか？

おうし座のアルデバラン、オリオン座のベテルギウスとリゲル、おおいぬ座のシリウス、ふたご座のポルクス、ぎょしゃ座のカペラ、こいぬ座のプロキオン、ですね。覚えるときは星座の名前



もいっしょにくっつけて覚えましょう。「ぎょしゃ座のカペラ」というように。

まず**オリオン座**はどこ？ 2月には、ほぼ真南の空に立っていますよ。オリオン座には明るい星がどの星座よりもいっぱい集まっているので、とても目立っていますね。三ツ星も小三ツ星こみつぼしも見えるでしょう？ 小三ツ星を双眼鏡で見ると星ではない何か広がりがあるものだと分かります。

オリオン座の左側（東側）には**ふたご座**がいます。図の中にあるM35は散開星団と呼ばれる星の集まりで、双眼鏡で細かい星がたくさん集まっている様子が見えますよ。

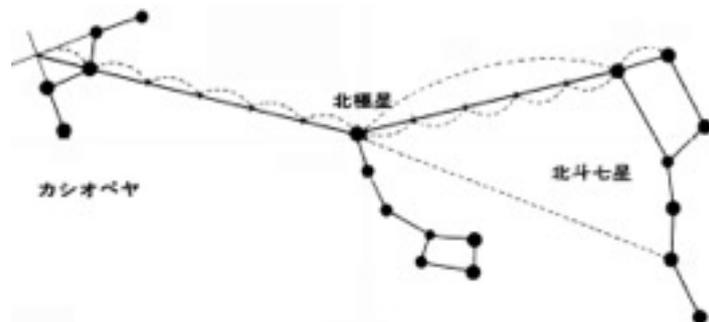


天頂付近には**ぎょしゃ座**の5角形が見えていますが、ぎょしゃ座の中にも星のかたまりが3つ（M36、M37、M38）ありますから、双眼鏡で探してみましょう。

オリオン座の西側（右側上方）には**おうし座**がいて、目印の**アルデバラン**や**すばる**（**プレアデス星団**）が見えています。すばるの中には6つの星が見えますが、実際は200個以上もあるんですって。

あなたが空の低いところまで見える場所に立っているならば、オリオン座の下には**うさぎ座**が、オリオン座の左下（東側）には**おおいぬ座**が見えているはずですよ。これで冬の星座はいくつでしょう？ もう6つも見つけましたよ。

今度は北を向いて見上げましょう。**北極星**は見つけられますか。北極星を探すのに方位磁石を使って北を探してもいいけれど、星空になれている人



ならば、W字の形に並んでいる星座を探します。そう**カシオペヤ座**ですが、真北よりずっと西側（左側）の低いところに見えているはずですよ。それが見つかったら上の図のような位置関係の2等星を探します。それが**北極星**ですよ。

北極星の反対側（右側=東側）には**おおぐま座**の中の**北斗七星**のひしゃくの一部分が見えています。これも探してね。北極星が見つかったら、星座早見盤で**ペルセウス座**と**さんかく座**もさがしましょう。全部で星座はいくつになるかな。他にも小さい星座がありますから、自分で探してごらんください。冬の星座はまるで動物園、いろんな動物の星座がありますよ。

### 冬の大三角

星座を見つけながら、**冬の大三角**も見つけましょう。**冬の大三角**は星座の名前ではありませんよ。冬の大三角の3つの星の名前をスラスラ言えますか。星座名といっしょにくっつけて覚えるようにしましょうね。**オリオン座**の**ベテルギウス**、**おおいぬ座**の**シリウス**、**こいぬ座**の**プロキオン**ですね。

でも今年の冬空には**おうし座**の**アルデバラン**のそばにもものすごく明るい**木星**と、**双子座**の中には赤っぽく明るい**火星**ががんばっていますので、**冬の大三角**をまちがえる人がいるのでは、と心配しています。

火星・木星は惑星わくせいですから星座早見盤にはのっていないのですが、国立天文台の星図にはえがかれていますから必ず確かめましょう。

### 星の色

伊勢原の夜空のように明るい空では、**星の色**がよくわからない人もいるかもしれません。他の星

は何色に見えていますか。シリウスはどうでしょう、ベテルギウスは？ カペラは？

星の色がよくわからないなあと感じたら、双眼鏡で見てみましょう。小さな双眼鏡でも肉眼よりずっとたくさん星の光を集められるので、星の色が分かりやすくなります。天体用の口径4cmの双眼鏡だったら肉眼の30倍以上も光を集められるのですよ。

## 1等星

最後に一等星を数えましょう。冬の空に見られる一等星は、おうし座にアルデバラン、ふたご座にポルクス、ぎょしゃ座にはカペラ、こいぬ座にはプロキオン、そしてオリオン座に2つベテルギウスとリゲル、おおいぬ座にシリウス、と全部で7つあります。ただし火星と木星はすごく明るいけれど、惑星ですから数えませぬ。

## あなたの目では、一番明るい星はどれ？

惑星わくせいである火星と木星を別にして、**おおいぬ座のシリウス**でしょう。シリウスは全天に21ある1等星のうちで最も明るくて-1.46等、地球からの距離8.6光年、日本で見ている星の中では地球から一番近い星です。近いから明るいのかな。シリウスを双眼鏡で見てごらん。青白く見えますね。他の星の色はどう、何色に見えますか？

マインヌ1等星ってどういうことかな？ 「星の明るさの等級」について自分で調べてみよう。

スマホのカメラで「冬のほしぞら」の写真が撮れますよ。やってみよう。もちろんスマホを固定しないとダメですよ。

## カノープスを見よう

カノープスが見えたら健康と長寿をお願いするといわれています。カノープスは伊勢原あたりでは真南の地平線から角度にして2度ぐらい

しか上がりませんから、なかなか見つからないし、見えている時間もわずかです。伊勢原市内の高台で南の地平まで見える場所とか、湘南平の右（西）側のくぼんだ所が見える場所でカノープスが見えます。終末処理場（アクアクリーンセンター）西の鈴川の土手の上からカノープスを見ることができず。星座早見盤を使って見える時間帯を調べてから探しますよ。

カノープスは、本当は全天で2番目に明るい1等星（-0.7等）ですが、とても低いので街の明かりにうもれてしまい、肉眼では見えないかもしれません。双眼鏡で探るか、写真に撮って確認する方法をとりましょう。

## 朝も見える月 冬の月は空高く 夏の月は…？

1ヶ月のおよそ半分は月明かりがあつて、ほしぞらさんぽのジャマになりますね。だったら月の観察もしてみたらいいのではないかしら。

① 冬に月を観察した人は、首がつかれることを知っていますね。冬の月は空高く、ほとんど天頂付近を通っていきます。え～知らなかったの？ 気づいていなかった人はさっそく確かめてみましょう。

では夏の月はどうでしょう？ 思い出せますか。

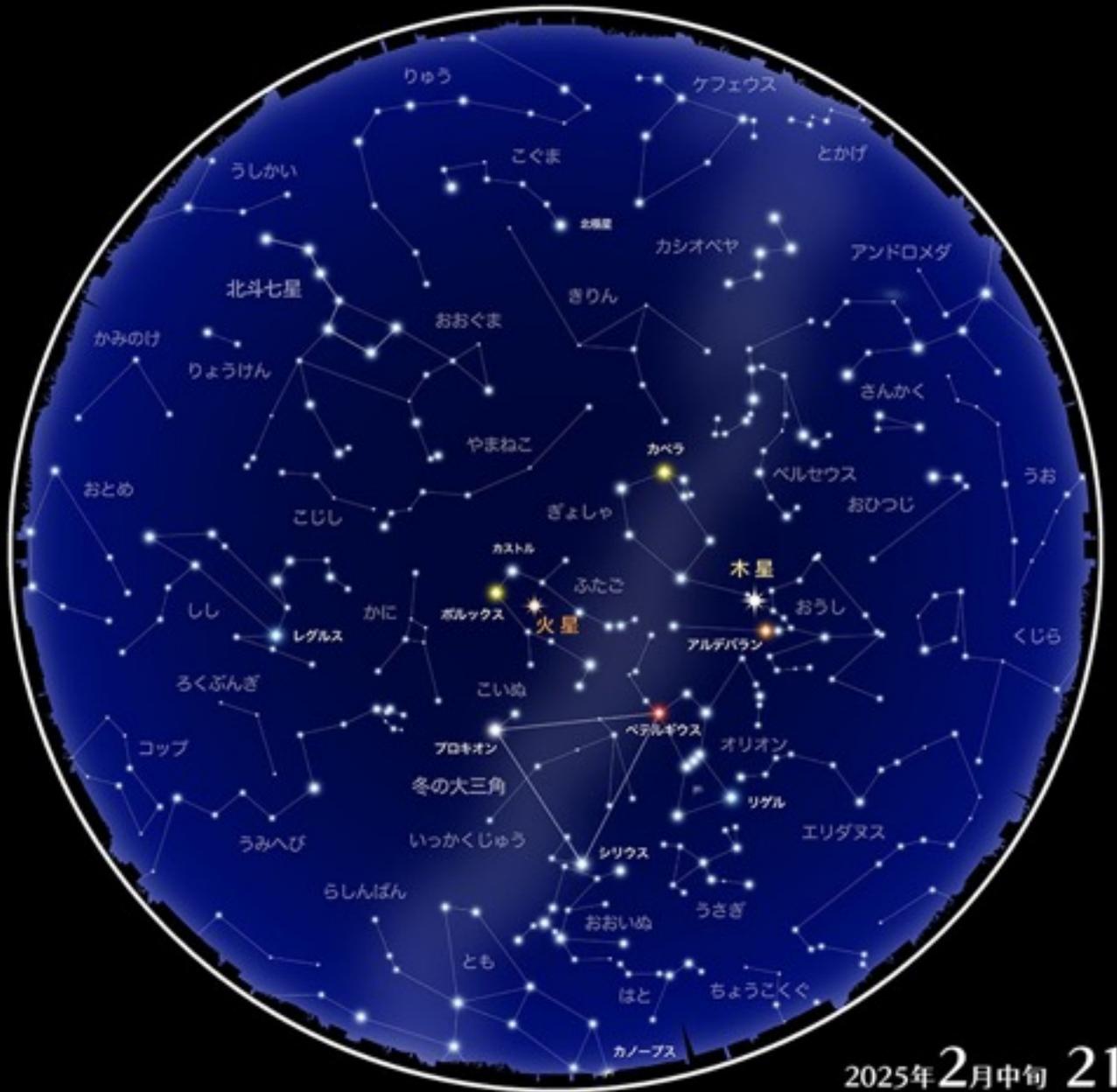
② 冬の朝、登校の途中に月を見つけたことがあるでしょう。「あら月が！」と小さな驚きだったでしょう？ だって登校の時間帯に月が見えるのは秋から冬の間だけです。本当かって？ 気になる人は今年1年間ずっと、晴れていたら朝の月を探してみ、日記に書いておきましょう。大人でも気づいていないかもしれませんよ。

北

東

西

南



2025年2月中旬 21時頃  
東京の星空

国立天文台